

宇都宮市立昭和小学校

児童数	学級数	内容区分（あてはまるものすべてに○を記入）
336	13	() 児童生徒の体力向上に向けてWEBサイト「とちぎっ子体力雷ジグひろば」使った取組 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組 () 体力づくりに関する家庭との連携 (○) 教職員の資質向上のための取組

1 ねらい

- (1) 児童会（運動委員会）が中心となり楽しく体を動かせる機会を設定することで、児童の意欲的に運動に取り組む態度の育成及び、体力の向上を図る。
- (2) 体育環境や教材・資料を充実させることで、全ての体育の授業が充実し、児童の体力向上につながるようにする。

2 実施内容

- (1) 新体力テストの調査結果を踏まえた児童会（運動委員会）による取組

令和3年度の新体力テストの調査結果の分析より投力・柔軟性の結果が低いという課題を受け、児童会（運動委員会）による話し合いを通して、楽しみながら投力や柔軟性を高めるための取組として以下を行った。

ア 「昭和小体育大会」の実施（7月）

2022年10月に、いちご一会とちぎ国体が開催されることから、本校児童が運動を楽しみながら体力を向上させつつ、本大会にも関心をもつことを目的とし、国体の競技種目の中から「キックターゲット（サッカー）」「ペタンク」「ドッジボール」を企画し、大会を行った。希望者のみの参加で、およそ230人の児童が参加し、運動に親しむ姿が見られた。

イ 体育館アスレチックの企画（12月予定）

令和元年から毎年続けている取組で、前年の体力チェックの結果を分析し、数値の低いところの体力向上をねらって楽しみながら運動ができるような場を設定している。令和3年度は肋木を使ったボルダリング（握力の向上）、島渡り（握力の向上）、ストラックアウト（投力の向上）、平均台と毛糸を組み合わせたクモの巣くぐり（バランス・柔軟性の向上）などの4つの場を設定した。

- (2) 体育環境及び教材・資料の充実に関する取組

ア いちご一会とちぎ国体に関する掲示

「いちご一会とちぎ国体コーナー」の設置により、いちご一会とちぎ国体への関心を高める場を設けた。また、体育の見方・考え方「する・みる・支える・知る」の観点からいちご一会とちぎ国体を捉えることで、スポーツへの様々な関わりを知るとともに、児童自身の運動・スポーツとの関わりへつなげていくことをねらいとしている。

イ ICT機器を利用するための教材の作成

ICT機器を多くの体育の授業で活用できるように、タブレット端末を設置することができ机を体育館と屋外の体育倉庫に準備した。動画で自分の動きを振り返る際に、焦点化できるように、机の引き出しに動きのポイントが分かる図を用意した。

ウ 体育だよりの発行

令和2年度より教職員に向けての体育だよりを毎月発行している。「各学年の単元の予定」や「活動例」,「研修会等の内容のまとめ」を周知することで,体育授業の充実をねらいとしている。

3 主な成果

- (1) 昭和小体育大会では,全校児童の約7割が参加し,意欲的に運動に親しむ姿が見られた。
- (2) とちぎ国体の掲示から多くの児童が自分と国体との関わりを知り,関心をもつようになった。
- (3) ICT 機器を効果的に活用する授業が増えた。
- (4) 体育だよりによる体育の情報や資料の提供によって,充実した体育の授業の一助となった。

4 資料

【昭和小体育大会の様子】

キックターゲット大会



ペタンク大会



ドッジボール大会



【体育館アスレチックの様子 (R3)】

ボルダリング



島渡り



ストラックアウト



クモの巣くぐり



【いちご一会とちぎ国体コーナー】



【ICT 機器の活用】



【体育だより】

